

看護学科 1年 後期 総合科目

1. 倫理学
2. 体育と運動生理
3. 現代の文学
4. 現代の科学
5. 人権と日本国憲法
6. 富山コミュニティー論
7. コミュニケーション論
8. 情報処理Ⅱ

看護学科

科目名: 倫理学			担当教員 氏名: 宮島 光志			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
この授業では、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討しながら、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心がまえを学習します。とりわけ、他者の「人生という物語」を共感しながら理解する態度・姿勢を身に付けてもらい、看護関連の仕事に携わる意欲(使命感)を高めてもらいます。						・道徳と倫理 ・地域共生社会 ・幸福度 ・尊厳と自立 ・インフォームドコンセント ・生命倫理と医療倫理 ・ケア ・物語論
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6. 7. 10	
A 知識・理解力	人間の尊厳、人生の意味と幸福、社会の成り立ちについて広く知り、理解を深める。					
C 論理的思考力	何が善であり、倫理的に正しいことであるかを、論理的に(根拠に基づいて)考察する。					
D 問題解決力	医療・福祉・介護の現場における倫理的な葛藤を分析し、問題解決の方策を検討する。					
F チームワーク・リーダーシップ	事例検討を通じて多職種連携の重要性を理解し、連携に必要な協調性を涵養する。					
G 倫理観	医療倫理の考え方を理解し、利用者と家族の人権を守るための倫理的配慮ができる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 75 %	レポート: 0 %	発表: 25 %	実技試験: 0 %	その他: 0 %		
特記事項: 本科目はアクティブラーニングの一環として、ビデオ教材(ドラマ)や新聞記事を用いた事例検討(問題発見と課題解決)を実施します。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 小テスト(復習と予習に関する確認)を講義3回に1回を目安として(合計5回)実施するほか、ケーススタディ(合計9回)のさいには毎回、数人の受講者にコメントを求めます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 小テストを5回、講義の冒頭で行い(回収後に解答・解説も行い)、採点して次回に返却します。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①[導入1]倫理の探求と幸福の追求:ドラマによるケーススタディ[1]			【予習】講義概要を熟読しておく。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】20分 【復習】40分	
②[導入2]人間の尊厳と人権の尊重:ドラマによるケーススタディ[2]			【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
③[導入3]人間の脆弱性と統合性:ドラマによるケーススタディ[3]			【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
④コメディカルの生命倫理;第1回小テスト(①~③の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】70分 【復習】20分	
⑤いのちの誕生における倫理的課題(その1);ドラマによるケーススタディ[4]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
⑥いのちの誕生における倫理的課題(その2);ドラマによるケーススタディ[5]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
⑦いのちの誕生における倫理的課題(その3);ドラマによるケーススタディ[6]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
⑧インフォームドコンセント;第2回小テスト(④~⑦の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】70分 【復習】20分	
⑨臓器移植に関する倫理;ドラマによるケーススタディ[7]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
⑩高齢者医療における倫理的課題(その1);第3回小テスト(⑧と⑨の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】70分 【復習】20分	
⑪高齢者医療における倫理的課題(その2);ドラマによるケーススタディ[8]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
⑫死に関連する倫理的課題;第4回小テスト(⑩と⑪の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】70分 【復習】20分	
⑬尊厳死と安楽死;ドラマによるケーススタディ[9]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
⑭児童虐待と生命倫理;第5回小テスト(⑫と⑬の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】70分 【復習】20分	
⑮発達障がい・LGBTと生命倫理;[まとめ]〈生と死の倫理学〉と看護実践			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。		【予習】50分 【復習】40分	
使用テキスト: 金子・金内ほか(編集)『学生と考える生命倫理[第2版]』(ナカニシヤ出版、2018、ISBN-10: 4779512212)				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この授業を履修しようと思う学生は必ず初回の講義に出席してください(原則として、第2回講義からの履修は認められません)。また、毎回の講義には事前学修(予習)をした上で出席し、講義時間内のグループワーク(事例検討)にもしっかり取り組んでください。						

看護学科

科目名： 体育と運動生理			担当教員 氏名： 小川 耕平			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 本講義は、中・高等学校の教育現場における体育教師としての立場、管理者としての立場から得た知見とその経験を活かし、人体の仕組みについて科学的に理解し、幅広い知識を持って健康・体力づくりについて理解し、実践できるようにする指導を行うものとする。						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
人体の仕組みについて科学的に理解し、幅広い知識を持って健康・体力づくりについて理解し、実践できるようにする。特に生活習慣病予防や介護予防の運動処方や実践方法について理解を深める。						運動・健康生理学 介護予防運動
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		2. 3. 6. 7. 9	
A 知識・理解力			人体の仕組みについて生理学的に理解ができる。			
B 専門的技術			人体の仕組みについて生理学的に理解し、医学(看護)と運動を関連付けることができる。			
D 問題解決力			疾病や予防のために必要な健康・体力づくりについて生理学的に理解できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 70% %	レポート： 30 %	発表： %	実技試験： %	その他： %		
特記事項：						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：中間評価および全体振り返りは、別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：毎回ノートの確認時にコメントシートを渡す。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①我が国の健康づくり施策と現状について				【復習】我が国の健康づくりについて理解する	30分	
②運動の継続と実践への取り組みについて				【復習】運動継続のポイントを理解する	30分	
③トレーニングの原理・原則とトレーニング方法について				【復習】トレーニング方法を理解する	30分	
④生活習慣病と運動について				【復習】生活習慣病について理解する	30分	
⑤簡易健康・体力測定と運動の実践				【復習】体力測定方法について理解する	30分	
⑥高齢期の健康・体力と運動について				【復習】高齢期の運動特性を理解する	30分	
⑦幼児期の健康・体力と運動について				【復習】幼児期の運動特性を理解する	30分	
⑧環境と運動について(中間振り返り)				【復習】運動環境について理解する	30分	
⑨体力の概念について				【復習】体力の概念について理解する	30分	
⑩神経系の役割について				【復習】神経系の働きについて理解する	30分	
⑪エネルギーの産生について				【復習】体を動かすエネルギーについて理解する	30分	
⑫筋系の特性と機能について				【復習】筋肉の特性について理解する	30分	
⑬酸素運搬能力について(呼吸循環系)				【復習】酸素運搬能力について理解する	30分	
⑭運動の効果について				【復習】運動の効果について理解する	30分	
⑮まとめ				【予習】看護現場における運動の知識をまとめる	30分	
使用テキスト： 随時プリント等で配布します。				その他参考文献など： ・健康・運動の科学(講談社) ・運動とスポーツの生理学(市村出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：理解できない点があればその時点で質問することを勧めます。 ・簡単な体力測定を実施します。(ウォーキングテスト・シャトルラン・簡易体力測定・筋力トレーニング実践)						

看護学科

科目名: 現代の文学			担当教員 氏名: 山本 裕世			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要: 現代の多様な価値観の中を生きる私たちは、ともすると生きる意味を見失いがちになる。「現代の文学」では、文学作品を通して、より良く生きるためのヒントを探し求めながら、作品を通していろいろな人生を体験し、感動を味わいながら、生きる意味をゆっくり考える時間を持ちたい。					キーワード	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8	
A 知識・理解力	様々な書籍に触れることで、読書の面白さを体験する。					
C 論理的思考力	テーマを設定し作品を論理的かつ構造的な視点をもって考え、文章化する。					
D 問題解決力	自分に問題を課し、思索、熟考を十分に行い自分なりの問題解決を志向する。					
E 自己管理能力	困難に直面しても前向きに生きるための心の持ち方を学ぶ。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: 30 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 上記「その他:30%」では、授業に対する姿勢、出席状況、積極性を評価する。						
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第7回目で、課題レポートの提出を課す。第15回目(最終回)では、講義で取り上げた作品の中から任意の一冊を選択し、批評、考察を旨とするテストを課す。毎回授業時に課題書籍の簡単なレポートを提出してもらう。課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 課題レポートにコメント、採点結果を添付後、返却。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①友情について考える。友だちに求めるもの、友だちを裏切るとき、裏切られるとき			【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。	【予習】30分 【復習】90分		
②①をテーマとする作品の書評と考察			【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。	【予習】120分 【復習】120分		
③自己と他者について考える。自分とは何か、他人とは何か			【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。	【予習】30分 【復習】90分		
④③をテーマとする作品の書評と考察			【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。	【予習】120分 【復習】120分		
⑤心と身体について考える。身体をどう捉えるか、心はどこにあるのか			【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。	【予習】30分 【復習】90分		
⑥⑤をテーマとする作品の書評と考察			【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。	【予習】120分 【復習】120分		
⑦孤独について考える。孤独とは何か、孤独を感じた時			【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。	【予習】30分 【復習】90分		
⑧⑦をテーマとする作品の書評と考察			【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。	【予習】120分 【復習】120分		
⑨家族について考える。家族の意味、意義とは何か			【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。	【予習】30分 【復習】90分		
⑩⑨をテーマとする作品の書評と考察			【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。	【予習】120分 【復習】120分		
⑪死について考える。死とは何か、生きるとはどういうことか			【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。	【予習】30分 【復習】90分		
⑫⑪をテーマとする作品の書評と考察			【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。	【予習】120分 【復習】120分		
⑬人生について考える。人生に意味はあるのか、意味は必要なのか			【予習】テーマについて考察し考えをまとめる。 【復習】資料に再度目を通し理解と考察を深める。	【予習】30分 【復習】90分		
⑭⑬をテーマとする作品の書評と考察			【予習】課題書籍を読む。 【復習】配布プリントを再度熟読し推薦書籍を読む。	【予習】120分 【復習】120分		
⑮講義のまとめ			【復習】全講義で配布したプリント、ノートをまとめておく。	【復習】120分		
使用テキスト: 資料としてプリントを配布する。			その他参考文献など: 新潮・角川・集英社など各社刊行の文庫			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 講義の中で紹介する作品は、時間が許す限り積極的に読んで欲しい。また、授業で取り上げて欲しい作品や問題点がある場合は、積極的に提案してほしい。						

看護学科

1年

科目名： 現代の科学				担当教員 氏名： 鳥山 朋二					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： ICT端末構築技術、ネットワーク技術に関する企業実務経験をもとに科学技術の解説を実施している									
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード			
科学技術は生活をより便利にし、効率的に活動できるようにする反面、人間関係を希薄化させるなどの問題も指摘されている。本科目では、ICTに関わる基盤技術の解説を主として行い、それらの技術が世の中のシステムとして展開されてるかについて、主に医療・福祉の分野のシステムを中心に解説する。医療・介護現場に今後導入されていく科学技術をよく理解し、それらのシステムへの関わり方を考察することを目的とする。						コンピュータ、 デジタルテクノロジー、 IT、ICT、IoT、 介護問題、障がい者・高齢者支援			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 7. 8.				
A 知識・理解力			①身近にある科学技術の基本について理解する。						
C 論理的思考力			②科学技術が生活にどのように役立つか、またその課題を考察する。						
D 問題解決力			③身近な問題について、討論をとおして科学技術による解決・対処方法を考える。						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	60 %	発表：	20 %	実技試験：	%	その他：	20 %
特記事項： 本科目はアクティブ・ラーニング形式をとり入れる。3～4人のグループ作成し、授業中にグループ討論を実施し、討論結果をまとめる。さらに前半と後半2回、グループごとで、事前に与えられたテーマについて発表し、全員で討論を行う。									
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 適宜課題を出し、レポートの提出を求める。また、討論の内容を踏まえて、グループ毎の発表を行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： レポートについては評価、コメント等を学生に伝える。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
① 情報通信技術の現状と課題				復習、および指定箇所の予習	【復習】60分				
② 情報通信技術の基礎(デジタル信号)				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
③ 情報通信技術の基礎(デジタル回路技術)				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
④ 情報通信技術の基礎(デジタルデータ処理技術)				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
⑤ 情報通信技術の基礎(ネットワーク技術)				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
⑥ 情報通信技術の基礎(IoT技術)				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
⑦ 情報通信技術の基礎(データ処理技術)				復習、および次回発表準備	90分				
⑧ 「これからの情報通信技術」をテーマに発表・討論				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
⑨ 情報通信技術の応用(見守り支援)				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
⑩ 情報通信技術の応用(高齢者ケア支援)				復習、および指定箇所の予習	【予習】60分 【復習】60分				
⑪ 情報通信技術の応用(介護予防支援)				復習、および指定箇所の予習	【予習】30分 【復習】60分				
⑫ 情報通信技術の応用(障がい者支援)				復習、および指定箇所の予習	【予習】60分 【復習】60分				
⑬ 情報通信技術の応用(医療支援)				復習、および次回発表準備	90分				
⑭ 「医療・福祉と科学技術」をテーマに発表・討論				レポート作成	90分				
⑮ 全体討論とまとめ				レポート作成	90分				
使用テキスト： ・情報工学入門シリーズ 情報工学概論 第2版 森北出版 ISBN: 978-4-627-80112-7				その他参考文献など： 1.)ICTの知っておきたい基礎知識 FOM出版 ISBN:978-4865103618					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： はじめの講義時間で詳細に述べる。									

看護学科

科目名: 人権と日本国憲法			担当教員 氏名: 後藤 亜季		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	総合科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
無人島で誰ともかかわらずに生きない限り、私たちは必ず、いずれかの社会に属して生活することになる。社会にはルールが存在するが、その中でも特に重要となるルールが法律である。講義では、社会人としてまた医療従事者にとって必要な憲法(人権)を学ぶ。また、現代的な問題について検討する。					憲法、法律、人権、自己決定権、医療
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. . 10	
A 知識・理解力		社会生活上必要な法的知識の獲得と理解ができる			
C 論理的思考力		法的な考え方(リーガル・マインド)の習得ができる			
D 問題解決力		社会生活上生じる様々な法的問題を解決するために、獲得した法的知識やリーガル・マインドを用いることができる			
E 自己管理能力		法的知識やリーガルマインドの活用により、社会生活上生じる様々な紛争を回避することができる			
G 倫理観		人権や権利擁護に対する正しい理解を得、幼児教育に関する学習や実習、将来に活かすことができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %	
特記事項: 授業中の発言は発言点となる。発言点は、テストで獲得した点数に加算され、合計点で成績評価を行うこととする。なお、授業計画は進捗や履修者の興味関心に応じて変更することがある。					
アクティブラーニング要素:					
課題解決型学習 ティムスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 最終試験は別に定める日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点して返却する。模範解答を配布する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス: 授業や評価について理解する 法学概論Ⅰ: 国家や法律はなぜあるかを考え、理解する			【予習】自分の身の回りにおける見聞きした法的事件を確認する 【復習】国家や法律がどのような役割を果たすのかをまとめる		
②法学概論Ⅱ 法律の種類を理解する 具体的な紛争をどのように解決されるかを理解する			【予習】法律の種類を調べる。紛争はどのように解決されているのか調べてくる 【復習】法と法律の違いを確認する		
③法学概論Ⅲ 具体的な紛争と違憲判決について理解する 法律の機能、特徴を理解する			【予習】法律の種類を調べる。紛争はどのように解決されているのか調べてくる 【復習】法と法律の違いを確認する		
④憲法概論Ⅰ 憲法とはどのような法律か—現代的憲法の成立と人権を中心に理解する			【予習】市民革命について学んでくる 【復習】市民革命から現代的憲法の成立までをまとめる		
⑤憲法概論Ⅱ 日本国憲法の三大原理を理解する			【復習】日本国憲法の三大原理、それぞれの関係性をまとめる		
⑥人権総論 憲法第13条と同第15条以下の人権規定、新しい人権について理解する。個人の尊重、と契約を理解する			【予習】憲法第15条〜第40条までについて調べる 【復習】憲法第13条と同第15条以下の関係、新しい人権についてまとめる		
⑦憲法第13条と自己決定権Ⅰ 自己決定権、信教の自由を理解する 輸血拒否事件1 成人事例について学び、理解する			【予習】憲法第13条について調べる 【復習】自己決定権と信教の自由についてまとめる		
⑧憲法第13条と自己決定権Ⅱ 親権について理解する 輸血拒否事件2 子どもの事例について学び、理解する			【復習】輸血拒否事件の論点をそれぞれまとめる。成人事例と子どもの事例の違いを明確にする		
⑨憲法第13条と自己決定権Ⅲ 生殖の自由、生殖補助医療、親子関係決定法について理解する			【予習】生殖補助医療について調べる 【復習】生殖の自由と親子関係決定法についてまとめる		
⑩憲法第13条と自己決定権Ⅳ 夫死亡後に夫の冷凍精子を用いたAIH事件を学ぶ AHD事例を学ぶ			【復習】授業の内容をまとめ、AIHやAIDはどのようにあるべきか検討する		
⑪憲法第13条と自己決定権Ⅴ 代理母契約、代理懐胎事件、生殖補助医療に関する問題を学ぶ			【復習】代理母に関する授業の内容をまとめ、今後の生殖補助医療はどうあるべきかを検討する		
⑫憲法第13条と自己決定権Ⅵ 尊厳死と安楽死を学ぶ 安楽死事件を学ぶ			【予習】尊厳死と安楽死について調べる 【復習】死の決定権について検討する		
⑬憲法第14条			【復習】合理的な差別と不合理な差別についてと判例の論点を整理し、まとめる。日々の生活において生じている異なる取扱について検討する		
⑭人権に関する現代的課題			【予習】医療と人権に関する問題について調べてくる 【復習】授業内容について、検討する		
⑮まとめ			【予習】全体の復習をする		
使用テキスト: テキストはありません。授業中配布するレジメを用います				その他参考文献など: いちばんやさしい憲法入門 第4版(有斐閣アルマ)	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布したレジメに従って授業を行います。法律を難しいと感じている人もいますが、次の点でこの授業は皆さんにとって役に立つと思います。社会のルールである法律、特にその中でも最も重要な憲法についての知識を得ることは、①社会人となる皆さんにとって必要であること、②多様な人々が暮らす社会においてその多様性を認めたくて適切な医療を提供する専門家として活躍する際に、とりわけ大切な行動指針を与えてくれること、③現代の社会的な問題や、日々において直面する問題の本質を理解したり、解決する力を養うことができます。授業では、具体的な事例を用いて、皆さんに参加していただきながら、できるだけわかりやすく、楽しく授業を進めていきます。是非積極的に参加してください。なお、受講者の希望に合わせて内容を変更することがあります。					

看護学科

科目名： 富山コミュニティー論				担当教員 氏名： 村井嘉寛、荒木晴美、河相てる美、矢野恵子、今川孝枝、高田 亮子、小倉之子、中田智子、古里直子、北山 由起子、炭谷英信、稲垣尚恵 他					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：									
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード			
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践 躬行			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10				
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	60 %	発表：	%	実技試験：	%	その他：	40 %
特記事項： その他については、授業への積極的な取り組みとグループへの貢献度によって評価する。									
アクティブラーニング要素： (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：毎回、ADが計画と実施の報告を受け、指導する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①【各学科】学修の進め方、地域調査の基本について。地域社会に生きる「私」をつくる				【予習】シラバスの確認	【予習】30分				
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①				【予習】計画書の作り方を調べる	【予習】30分				
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
⑤【AD】連携機関との打合せ				【予習】計画書の確認	【予習】60分				
⑥【AD】調査計画の修正				【予習】計画書の確認と実体験にむけて	【予習】60分				
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①									
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②									
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③									
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④				【予習】ノートの整理	【予習】60分				
⑪【AD】地域課題の解決策の検討									
⑫【中村】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表)※1				【予習】発表準備	【予習】60分				
⑬【AD】学習成果のまとめ①				【予習】報告書の書き方を調べる	【予習】60分				
⑭【AD】学習成果のまとめ②				【予習】報告書の書き方を調べる					
⑮【全学科】学習成果報告会 1月26日 Uホール				【予習】発表準備 【復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
使用テキスト：				その他参考文献など：佐藤郁哉：フィールドワークの技法-問を育てる、仮説をきたえる。 社会学やさまざまな領域の文献を探索的に探し参考にしてほしい。					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ※1. ボランティア報告会の日時は学科専攻の担当教員からお知らせがあります。 ・「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指す。									

看護学科

科目名: コミュニケーション論			担当教員 氏名: 経田 博子			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次 後期	総合科目	演習	必修	交流分析士2級受験資格	
実務経験を用いてどのよ			交流分析士・TAカウンセラー・産業カウンセラーとしての経験を生かして、自分の思考・感情・行動の癖にうな授業を行っているか: 気づき、コミュニケーション時の選択肢を増やすこと等について教授する			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
コミュニケーション心理学ともいわれる交流分析を学ぶ。人の心の在り様と、思考・感情・行動について分析し、活用方法を学習と演習から学ぶ。また、自分と他者のコミュニケーションパターンを理解し、交流の改善方法について学ぶ。					交流分析・交流パターン・ストローク・傾聴 ・人生の立場・心理ゲーム・時間の構造化 ・人生脚本	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 3. 5. 10	
A 知識・理解力			交流分析の理論を理解し、ワークなどから自己理解を深める			
D 問題解決力			問題に気づき、いろいろな対処方法から「今ここで」必要な対応を理解する			
E 自己管理能力			自分の思考・感情・行動のパターンを理解し、自分の選択に責任を持つ			
F チームワーク・リーダーシップ			ワークショップ・グループワークを通じて、協調性や自分の役割を理解する			
H コミュニケーション力			交流分析の哲学を意識して、より良い人間関係を築く能力を養う			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 80%		レポート: 10%		発表: %		実技試験: %
その他: 10%						
特記事項: ・上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題提出・TAシートの書き込み状況などで評価する ・本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テストを行う。授業内で、グループワークの準備やまとめとしてのレポート提出を行う。最終試験は、別に定めた日時に実施する						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テスト、レポート課題を行い、採点し個人のは返却する。グループとしてのレポート提出においては、返却はしない。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①コミュニケーションとは 自己紹介 自我状態 ストローク				【予習】自我状態・ストロークを読む		予習60分
②ストロークの活用 価値を認める 人生の立場				【予習】人生の立場を読む		予習30分 復習30分
③いろいろな見方 人生の立場 自分の事例・グループワーク				【予習】TAシートP29記入		予習60分 復習30分
④OK・OKの思考・感情・行動 人生の立場 ディスカウント 小テスト				【予習】人生の立場を読む		予習30分 復習30分
⑤心理ゲームとは ゲームの公式				【予習】心理ゲームを読む		予習30分 復習30分
⑥自分がつついてしまうこと ゲームの図式 代表的なゲーム				【予習・復習】心理ゲームを読む		予習30分 復習30分
⑦嫌な感情の減らし方 ゲームをやめるには・グループワーク 小テスト				【予習】TAシートP35記入		予習60分 復習30分
⑧ラケット感情 ストレスと感情 グループワーク				【予習】心理ゲーム・ラケット感情を読む		予習30分 復習30分
⑨時間の構造化				【予習】時間の構造化を読む		予習30分 復習30分
⑩充実した時間の過ごし方 時間の構造化 小テスト				【予習】TAシートP37記入		予習30分 復習30分
⑪自分の物語 人生脚本とは 幼いころに決めたこと				【予習】人生脚本とはを読む		予習30分 復習30分
⑫自分の中にある禁止令 小テスト				【予習】禁止令を読む		予習30分 復習30分
⑬拮抗禁止令とドライバー プログラム				【予習】ドライバーまでを読む		予習30分 復習30分
⑭ミニスクリプト 自分を止めるもの 許しを与える				【予習】ミニスクリプトまで読む		予習30分 復習30分
⑮自立に向けて 自分がなりたい自分 看護職を意識して				【予習】TAシートP45記入		予習30分 復習30分
使用テキスト: 日本交流分析協会発行 交流分析士2級テキスト・シート・エゴグラム 使用 (前期の人間関係論と同じテキスト)				その他参考文献など: 交流分析入門(チーム医療)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 自分や自分の周りの人とより良い関わりができるように、自分を成長させていく貴重な時間です。テキストの理解と共にTAシートの記入など、自身を見直す時間を丁寧になさってください。前期の「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方で40時間以上受講した人には、2月ごろ実施のNPO法人日本交流分析協会認定「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられます。						

看護学科

1年

科目名: 情報処理Ⅱ				担当教員 氏名: 伊達 伸之輔		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	後期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事の場で使いこなすことが出来る基礎的素養を身に着けること。					統計基礎、データサイエンス、AI、データの比較、データの集計、個人情報保護、情報漏洩	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
A 知識・理解力			1. 2. 8.			
D 問題解決力			・データを読み解く力、説明する力、データを扱うための力を養う。 ・情報作成能力を身に付け、活用能力を高める。			
C 論理的思考力			・データ・AIを活用する際の留意事項に関する知識習得。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %		
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に授業内容の確認チェックを実施する。また、授業期間の中間と最後に授業の振り返りを行い、授業理解の確認を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業期間の中間と最後の振り返り時の理解度については、個別に伝える。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
① ガイダンス:数理・データサイエンス・AIを学ぶ事の意義					AIを活用したビジネス/サービス	【予習】30分 【復習】30分
② 社会で活用されているデータ					データ収集・活用の状況	【予習】30分 【復習】30分
③ データ・AIの活用領域					データが活用される領域	【予習】30分 【復習】30分
④ データ・AI活用のための技術					データ・AI活用のための技術概要	【予習】30分 【復習】30分
⑤ データ・AI活用の現場					データ活用による価値の創造	【予習】30分 【復習】30分
⑥ データ・AI活用最新動向					ビジネスモデル、テクノロジーを知る	【予習】30分 【復習】30分
⑦ データを読み解く(統計基礎を学ぶ)					統計基礎の知識・スキル	【予習】30分 【復習】30分
⑧ データ処理のための関数活用					Excel関数の活用	【予習】30分 【復習】30分
⑨ 中間振り返り					Excelを活用したデータの処理	【予習】30分 【復習】30分
⑩ データの可視化					Excelによるデータのグラフ化	【予習】30分 【復習】30分
⑪ データ間の関係					相関関係について	【予習】30分 【復習】30分
⑫ データの集計(1)					アンケートデータの単純集計	【予習】30分 【復習】30分
⑬ データの集計(2)					アンケートデータのクロス集計	【予習】30分 【復習】30分
⑭ データ・AIを扱う上での留意事項					情報保護、セキュリティ等	【予習】30分 【復習】30分
⑮ 振り返り					Excel機能を活用したデータ処理	【予習】30分 【復習】30分
使用テキスト: 適宜、資料を配布する。					その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習を行うこと。						